



## 川崎電線(株) ベトナム事業の紹介と

### 現地生活事情について

KAWASAKI VIETNAM Co., LTD 鈴木英幸

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかな新春をお迎えのことと存じます。2019年5月よりKawasaki Vietnam Co.,Ltd.(川崎電線ベトナム販売会社)の社長を拝命しています鈴木英幸と申します。これまでシンガポール、マレーシア、ベトナム(2010~2014)、バンコク駐在を経て2019年5月にベトナムに戻りまして、通算17年の海外生活となります。今回、川崎電線のベトナム子会社と現地生活事情について紹介させていただきます

### 1. 川崎電線(株)のベトナム子会社について

川崎電線(株)の初のベトナム生産拠点として、2008年にKDK ELECTRIC WIRE(VIETNAM) Co., Ltd.(略称KDKベトナム)が操業され、HCM(ホーチミン)の北部ビンズン省・ミーフック工業団地にて主に銅線加工や電線の製造・加工を行っています。その後2014年には販売拠点としてKawasaki Vietnam Co., Ltd.が設立され、製造会社と販売会社の2社体制で事業を行っています。



ミーフック工業団地

### 2. ベトナム電源規格取得第一号

KDKベトナムの主製品は電源コードで、2011年5月、ベトナム科学技術省が制定した電源コードのベトナム規格(TCVN6188-1:2007)の許可を世界で初めて取得しました。これによりベトナム国内で売られる電気器具での使用が義務付けられました。2012年7月までに、英国BSI、欧州9か国規格、豪州AS、マレーシアMS、米国UL、カナダCSA、日本PSE規格などを取得し、グローバルな顧客対応が可能となりました。



### 3. ビンズン省ミーフック工業団地

ミーフック工業団地は、HCMの北45km、車で1時間ちょっとのところのところに位置します。工場だけの工業団地ではなく、職住接近型総合工業都市のコンセプトを有しています。

2002年の第1期完成から5期まで、開発面積は6haでKDKベトナムは第2期開発時に入りました。世界30カ国以上から450社を超える会社が入居しており、主な日系企業としては、麒麟ビバレッジ、クボタ、堺化学、東洋製缶、矢崎総業、岩井機械工業、KINGJIM、近藤紡績、タイ竹中建設などが入っています。



#### 4. ベトナムについて

ベトナムは、人口 9400 万人（日本 1 億 2600 万人）、国土面積は 33 万 Km<sup>2</sup> で日本の 87%に当たります。

古くは中国やモンゴルの侵略を受け、近代に入りフランスに占領されたことで、以前はあった漢字文化が無くなり、現在のベトナム人は漢字が分かりません。

日本とのつながりは古く、室町時代には既に交易があり、古都ホイアンの港近くには日本街があったようで、今も日本橋という橋が残っています。

HCM(旧サイゴン)は 100 年くらい前までは木綿で栄えていたアジア最大の歓楽街で、当時の人口は 700 万人程になっていました。

##### ●物価について

輸入品は高いですが、国産品は日本の 1/7~1/3 です。2017 年のベトナム人の平均給与は 650 万 VND(30,500 円)前後ですが、逆に言えばこれでやっていけるということです。勿論、店の格式や場所によっても値段は変わってきますが、ローカル店に行けば美味しく安く、例えばフォーやバインミーはローカル店で 150~250 円ですが外人向け店では 750~1500 円します。地元ビール「333」は 350ml カン 60 円ですがキリンの一番搾りは 200 円。地場のミネラルウォーターは 500ml で 25 円、ローカルカフェのアイスコーヒーは 70 円、外資のサブウェイのサンドイッチは 490 円でほとんど日本と変わりません。タクシーの初乗りは 60 円、タバコは 20 本入りで 100 円前後、ガソリンは 20,800VND/L(100 円/L)です。

2018 年の全国平均物価上昇率は 4.7%で、ここ数年で最高の伸び率となっていますが、ハノイや HCM は 10%以上になっていますので、工場の建設は、田舎へ田舎へと行かざるを得ません。

##### ●給与について

給与は業界や技能により、大きく異なりますので一概に言えませんが、批判を承知で一般的レベルを書きますと、工場勤務ワーカーで 2~3 万円/月、大卒の初任給は 4 万円/月(外資で 7 万円もあり)、管理職で 8~15 万円、外国語(英語、日本語、仏語等)+専門知識保有者(技術者)で 20 万円前後です。

##### ●ベトナム人気質

真面目で従順であるが頑固なところもあります。分からないことも引き受けてしまう人の良さもあり、厳しい競争社会の中で育ったせいか猪突猛進型が意外に多いです。家族や血縁を大事にし、近所付き合いも深いものがあります。親日的で近所の人から声をかけてもらうことが多々あります。



### ●交通事情について

ベトナムと言えばあのバイクの波です。バイクの無免許率が高く、歩行者は優先されないのが注意が必要です。土地は国の所有であっても住民の権利主張が強く、道路の拡張整備が進まず、京都と同じように渋滞が発生します。自動車は、10年前まではトラックとタクシーが中心でしたが、近年自動車の所有率が上がってきています。電車は南北に単線で走っていてHCMからハノイまで3日もかかりますが大事な交通機関となっています。

### ●日系のコンビニについて

日系のファミリーマート、セブンイレブン、ミニストップ、サークル K が各地に出店されていて、おにぎり、サンドイッチ、日本食材などが入手可能です。イオンモールも HCM とハノイに出店していてフードコートには丸亀製麺、長崎ちゃんぽんなど日本と同じように食事ができます。

### ●宗教について

仏教の信者が多いですが、キリスト教、イスラム教徒も存在します。南部 HCM ではベトナム独自の宗教でカオダイ教(高台教)というものがあります。五教(儒教、道教、仏教、キリスト教、イスラム教)の教えを土台としています。祀られているシンボルが大きな目玉で、これは天眼と呼ばれ、宇宙の原理、宇宙の至上神を象徴しているようです。

私には昔、映画でみた 20 世紀少年を思い出させます。意味合いは神様が見ているので悪いことはしてはならないというようなものらしいです。宗教観は日本人に近いものがあり、困ったときの神頼みと盆暮れ初詣をするくらいようです。歴史は新しく 1919 年(100 年前)、タイニン省ではじまり、信徒は 100 万~300 万人とされています。

### ●衛生面について

ごみの分別も始まりましたが、街中にごみをポイ捨てる習慣が根強く、毎日行政の衛生係が拾い集めていますが追いつきません。街中の道路にはネズミとゴキブリが沢山います。ベトナム人はゴキブリを気にしない人が多く、殺されないのがゴキブリの動きはゆったりしています。このような環境ですので伝染病である疫病も多く、赴任される方には清潔な宿舎をお勧め致します。

### ●病気について

デング熱、赤痢など昨今の日本では罹患しない病気があります。クリニックはありますが医療の設備は未だ整っていません。意外ですが暑い南国であってもインフルエンザは流行します。最近話題の PM2.5 という大気汚染はベトナムも酷く、ハノイ、HCM は世界のワースト 5 に入っているようです。日本人で喘息になる人も多く、一部ではハノイ病などと呼ばれています。



カオダイ教寺院



道端の屋台はちょっと勇気がある



日本のアニメも人気



ホーチミンの高層マンション



ホーチミン下町



ところどころで見られる

#### ●教育レベルについて

現在はほぼ全員が教育(中学レベル)を受けていて、特に都市部のレベルは高いです。大学卒業レベルであれば英語はビジネスレベルで更に日本語を勉強している学生も多いです。日本のアニメーション人気の影響も大きいようです。出版物の管理がされている為、書籍の入手が困難です。外国の書籍販売許可は困難で検閲が難しく書店にはありません。集会やデモも基本的には管理されている為、反政府活動はほとんどなく落ち着いています。

#### ●通信面について

通信関連のインフラが遅れていたことで一気に4G(LTE)のネットワーク回線が現在使用できます。日本や米国のように有線の電話や公衆電話が従来無かったことで携帯電話の普及が早かったです。弊社従業員のほぼ全員がスマートフォンを持っており、操作は我々日本人以上に得意です。インターネットについても普及していて、多くのレストランや人の集まる店では無料WIFIの電波があり、外国からの観光客には便利です。

### 5. ベトナムでの生活で経験した少し変わったところ

その① 2010年頃に1ルームのアパートに住んでいました。建物に入るドアに鍵があり(共用)、個別の部屋にも鍵がありました。ベトナム正月(TET 旧正月)に日本に一時帰国し、アパートには真夜中に返ってきたのですが、建物に入ろうとすると持っている鍵が入りません。深夜で申し訳なかったがアパートの大家さんに電話を入れると、「鍵はセキュリティの問題で交換した。」との事。では、「どうやって部屋に入るの?」と声を荒げると、先方も機嫌が悪くなって「一寸待って!今行く!」とヒステリックな声、待ち続けること30分。やっと鍵を持って来てくれました。大家の彼女曰く「建物は私のもので泥棒が怖いので鍵を交換した」ということでした。(事前に連絡してよ!まったく。=心の声)

その② 単身赴任に慣れたころ、家族が春休みにベトナムに遊びに来ました。高級ホテルを取りましたが、子供がお父さんのアパートが見たいと言うので、アパートにいきました。部屋は4階で、外の鍵を外し階段を上がっていくと上の階から目をこすりながら掃除のおばさんが降りてきました。部屋に入るとエアコンが利いていてベッドの中央部に人の寝ていたような形跡が残っていました。「なんで掃除のおばさんが寝ているんだ?」大家さんに苦情を入れても知らん振り。相手になりません。

別の日には、会社から戻ると見知らぬ大人用DVDが部屋に在りました。(俺の部屋で何してるんだよ!)大家さんに抗議すると、「好きでしょ?差し上げるので楽しんでよ」との回答。「留守中に部屋を使用しないでよ!」と声を荒げると、「建物の所有は私のもので貸しているだけ」という回答。(どんな理論なんだ?)文化の違いに大きなショックを受けました。

その③ アパートを出るきっかけとなった事件がありました。酒を飲んでアパートに戻り、シャワーを浴びてエアコンをつけて眠りましたが、顎と首のあたりにチクチクした感覚があり、電気をつけてベッドのシーツを調べると注射針が刺さっていました。びっくりして写真を撮り、(人のベッドで注射打つんじゃねえよ!)翌日苦情を入れたところ流石に謝ってきましたが、今回はさすがに限界を感じてアパートを移ることにしました。引越しの日、後輩二人に荷物を運ぶのを手伝ってもらい、荷物を全部出してから、準備しておいたビールやジュースを飲もうと冷蔵庫を開けると中はからっぽ。近くで掃除のおばさんがジュースを飲んでいたので聞いたところ、「荷物は全部出したのでしょ。早く出て行けば!」と涼しい回答。最後までやりきれないアパートでした。(ひどいのはこのアパートだけでしたよ。念の為)

## 6. 最後に

最後に個人的な感想を申し上げますとベトナムは非常に暮らしやすく、日本人にとっては安心して生活のできる国です。日本製商品への憧れもあり電化製品などは最も人気があります。少し困る事では、交通ルールの遵守やマナーが悪いことです。HCM(ホーチミン)は古い街ですが、歩道にバイクが乗り上げて走ったり、後ろから追い越されて怖い思いもします。信号が青となり横断歩道を渡っていても車やバイクが優先ですので避けて渡らねばなりません。歩道を車やバイクが走る為タイルが割れていますので、注意して歩かないと足を捻挫してしまいます。また、50~60年前の日本もそうでしたが、平気で公衆の面前で立小便をしますので路地は犬小屋のような臭いがするところがあります。小さな問題は沢山ありますが親日の国なので基本的には過ごしやすいと思います。完

